

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月 11 日

事業所名 療育支援サカセル 上山門教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		配置基準を満たしています。職員全員が資格保有者です。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		階段に滑り止めを設置し、昇降の際には安全に配慮しています。	契約時には、教室が2階にあることについて、保護者様にご了承を得ています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務改善のために自己目標設定シートを各自で作成して取り組んでいます。	よりよい療育につながる目標設定を心掛け、適切な振り返りを行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在は実施していませんが、今後検討してまいります。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修・オンライン研修の機会を積極的に利用しています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		ミーティングを行い、来室児童の課題を考慮した支援を行うよう、工夫しています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		来室児童の個別支援計画を共有し、その日の支援について毎朝のミーティングで話し合っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		児童の利用状況の共有等を適宜行っています。今後も必要に応じて連絡調整してまいります。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在該当児の利用はありませんが、必要な場合は看護師等の配置を考えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		切れ目のない支援を行うために、より一層、情報共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	障がい者就労継続支援事業所を運営しているため、社内での情報共有と連携体制は整っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		各種関係機関はもちろん、多岐にわたる分野の研修やセミナーに参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在コロナ禍で出来ていませんが、今後、交流できる機会を設けるよう努めます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		コロナ禍においても、オンラインのセミナー等に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話やメール、連絡ノートによる情報共有や、必要に応じて随時面談を行うなど、共通理解を持つための体制を整えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		職員も積極的に様々な研修を受講して対応力向上に努め、保護者様にお話しさせていただいています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在のコロナ感染状況がある程度収束した時点で、前向きに検討したいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お便りやSNSによる発信を随時行っています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		書類は鍵付きのキャビネットで、データは自社サーバーで、それぞれ管理を徹底しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、地域の行事にも積極的に参加する機会を持ち、相互理解に努めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを完備し、都度見直しております。引き続き、契約時にご説明してまいります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年数回の避難訓練を行っています。今後も、災害発生時への備えを怠らないようにいたします。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在は該当児の利用はありませんが、職員の意識をより高め、適切に対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成し、定期的に見直しています。	今後も危機管理・安全対策に努めてまいります。